

平成 26(2014)年度事業報告書

一般財団法人 高度映像情報センター
(A V C C)

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

I はじめに

当センター認可時(1966年6月15日)より理事長の任にあり、一般財団法人への移行時(2013年3月31日)にその任を辞した久保田致長氏が、昨年9月29日鬼籍に入られました。氏が遺した「人生に定年はない。自分の決めたフィールドで、年齢というゴールを置かず頑張り抜く。」「老いても若きも、目の前の課題から目を逸らさず、果敢に挑戦する。」というメッセージは、来るべき超高齢社会に通じる重い遺訓となりました。H26年度事業では「地域、組織、個人のレジリエンス向上」や「地方創生」を取り上げましたが、長期的なビジョンで取り組んでまいりたいと思います。

(1) 霞が関ナレッジスクエア事業

復興庁・文部科学省より「学びを通じた被災地地域コミュニティ再生支援事業」として委託を受けた2014「デジタル公民館まっさき」事業は、平時・非常時共に地域コミュニティの要である公民館機能をリアルな活動の面で再構築する支援となりました。またICTを活かしたデジタル活動を付加することで、超高齢社会の新たな人と人の絆とコミュニティ再生に資する学びとなり、地域公民館が「復興から地方創生」へ進化するgood practiceとなりました。

社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」には、(1)アントレプレナー 楠見敦美さん、(2)血液由来感染症研究者 吉原なみ子さん、(3)プロゴルファー 石原端子さん、(4)航空業界人事職 西島克博さん、(5)国際協力業界総合職 大宮航時さん、(6)国際協力業界総合職 琴浦容子さん^{*)}の6名のエキスパートにご登場いただきましたが、そのうち4名が女性でした。また3名が国際協力分野で活躍するグローバル人材、開発途上国の国づくり支援と地方創生に共通する様々なしごと力について学びました。

毎月一本新作プログラムを公開している「しごと力向上ライブラリー」には、72講座204単元が公開されています。今年度もっとも多くの方々に学習されたプログラムのBest10は、(1)論理的な文章の書き方、(2)電話対応のマナー ビジネス電話の基本、(3)ビジネスパーソンのためのビジネス敬語の時間、(4)新入社員研修 ビジネスマナーの基本、(5)ビジネスメールの基本、(6)知っておきたい生命保険の基礎知識、(7)ヒューマンスキルとしてのマナーを磨く、(8)しごとのできる人の行動特性 コンピテンシーを学ぶ、(9)従業員満足(ES)の基本を学ぶ 働きがいのある職場づくりのために、(10)職場で役立つコミュニケーションスキル【基本編】円滑にコミュニケーションするヒントとなりました。KK²は今後も、何時でも、何処でも、誰でも、しごと力を学べる環境を提供してまいります。

(2) コンサルティング事業

地域における、情報システム、ネットワーク構築、防災消防関連の調達に関するコンサルティング、地方創生、情報セキュリティ、個人情報保護、危機管理教育に関する支援事業を、全国で数多く担当させていただきました。単にハードウェア(システム)のレジリエンスのみならず、その運営組織でのソフトウェア(運営)・人のレジリエンスを追及しております。

^{*)} 琴浦容子さんのエキスパート・スタジオの収録日は2015年4月23日のため次年度報告に含めます。

Ⅱ 霞が関ナレッジスクエア(KK²)事業

(1) 事業全体

-1 自主プログラムとのべ参加者数

今年度は179プログラムを実施しました。延べ参加者数は、KK²会場での参加者が1,333名。遠隔会場での参加者は924名です。また Web サイトで公開しているオンデマンドコンテンツの視聴(Web ページ訪問者)は28,105名。合計のべ30,362名がプログラムに参加していただきました。

図-1 自主プログラムと参加者数

プログラム内容	実施回数 および コンテンツ数 (web)	KK2会場 参加者合計	属性内訳			遠隔会場 参加合計	Webページ 訪問者合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般			PC	スマホ	
人と人の絆と地域の再生										
2014「デジタル公民館まっさき」	6	57名	24名	31名	2名	743名	1,390名	1,314名	76名	2,190名
災強！霞が関防災キャンプ	2	13名	5名	5名	3名		709名	637名	72名	722名
心と体のストレッチ	3	57名	21名	16名	20名		784名	596名	188名	841名
しごと力向上エキスパートと学ぶ										
エキスパート・スタジオ	4	119名	19名	57名	45名	68名	3,046名	1,673名	1,373名	3,233名
KK2しごと力道場	3	26名	9名	9名	8名		418名	388名	30名	444名
しごと力向上ライブラリ	12						827名		827名	827名
霞が関カウンセリングプログラム	62	60名		60名		2名				62名
キャリアカフェ	2	23名	12名	4名	7名		732名	697名	35名	755名
KK2 goodbooks							9,100名		9,100名	9,100名
イノベーションプログラム	1	21名	3名	11名	7名	12名	359名	270名	89名	392名
コンピテンシー・チェック							48名		48名	48名
新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援										
生涯現役版エキスパート・スタジオ	1	19名	3名	7名	9名	32名	198名	184名	14名	249名
文化に親しむ交流事業										
KK2エントリープログラム	6	340名	11名	60名	268名	49名	3,401名	3,298名	103名	3,790名
霞が関寄席	2	210名	77名	51名	82名	8名	778名	743名	35名	996名
霞が関ミュージックサロン	5	250名	6名	14名	230名	10名	1,924名	1,752名	172名	2,184名
食と文化講座	3	89名	27名	35名	27名		929名	783名	146名	1,018名
霞が関シアター	2	49名	13名	4名	30名		635名	535名	100名	684名
江戸TOKYO散歩	65						2,827名	2,827名		2,827名
合 計	179	1,333名	230名	364名	738名	924名	28,105名	25,672名	2,433名	30,362名

※ 末崎地区公民館(衛星)、長洞元気村(衛星)の参加人数は、大船渡市「デジタル公民館まっさき」事業での現地活動参加、ライブ配信参加も含まれます。

-2 メンバー数および Web 会員数

メンバー数および Web 会員数は以下の通りです。前年度に比べメンバー数は減少し、厳しい状況が続いています。新規メンバー獲得に向けた提案活動や事業の PR 活動の強化が継続的な課題です。

図-2 メンバー種別

	メンバーの種類	年会費
協賛メンバー	民間企業・各種団体	一口120,000円/年、一口以上
	NPO法人	一口60,000円/年、一口以上
	大学・専門学校	一口60,000円/年、一口以上
	個人	12,000円/年
一般法人メンバー		一口120,000円/年、一口以上
Web会員		無料(登録制)

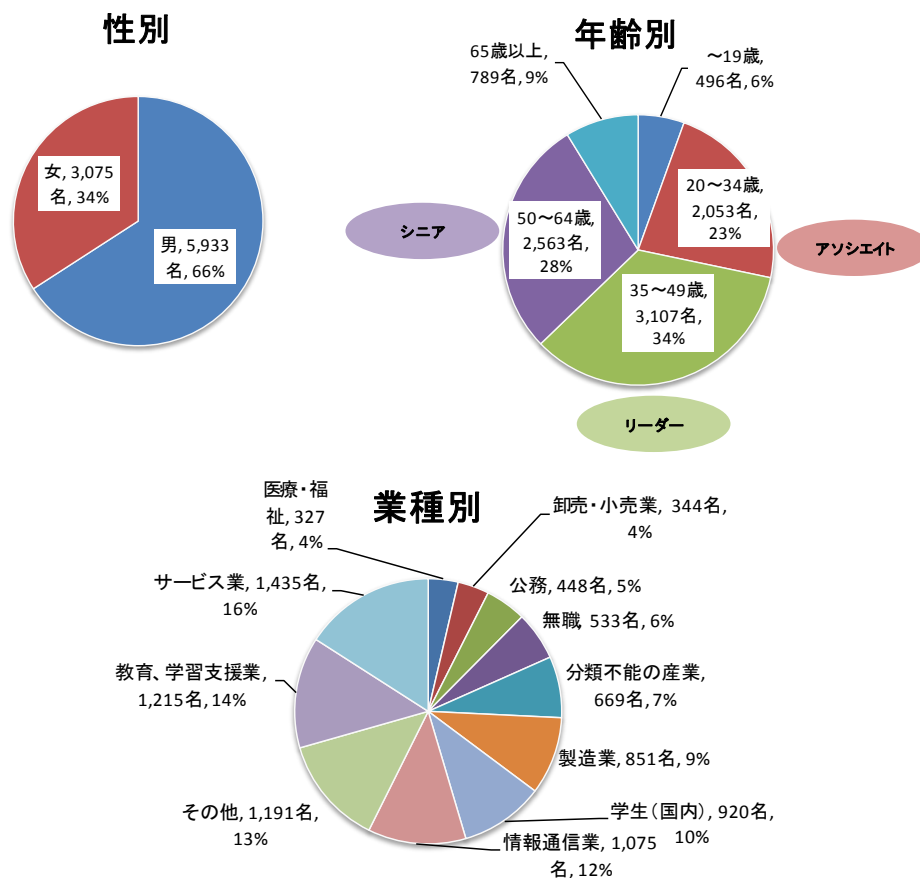
(税別)

図-3 メンバーおよび Web 会員数

	協賛メンバー				法人メンバー	協賛メンバー (個人)	Web会員
		民間企業・ 各種団体	NPO法人	大学・ 専門学校			
平成26年度	30	21	2	7	5	18	9,008
平成25年度	33	22	2	9	6	34	8,200

Web 会員数は、前年度に比べ 808 名増加し 9,008 名。属性は以下の通りです。「アソシエイト」(20～34 歳)、「リーダー」(35 歳～49 歳)、「シニア」(50 歳～64)各層それぞれ約 3 割と均等な割合となっています。

図-4 Web 会員の属性



-3 施設利用状況(スタジオ、ラウンジ、エキスパート倶楽部)

KK² 事業収入は協賛会費収入とレンタルスペース貸出し収入で賄い、プログラム参加者にも実費をご負担いただき、一切行政に頼らない運営を行ってきました。ネットワーク&技術提供を株式会社メディアリンクにご支援いただき、協賛メンバーに支えられ活動していますが、今年度協賛メンバー数が減少しレンタルスペースの稼働も低下しました。WEB サイトから申込できるサービスも開始し、多くの方にご利用いただける環境、PRを進めてまいります。

①スタジオ貸し出し

メンバー及び一般に対して、セミナー、会議、交流会(パーティ)等のスペース貸出し及びライブ配信・収録・同時通訳・TV 会議等の技術サービスを行います。貸出し実績が低迷している現状を踏まえて、PR 活動の強化と料金体系等を見直し、稼働率の向上をめざします。

またスタジオの貸し出しを増やすため、よりご利用になりやすい価格として「終日利用プラン」を設定しました。9 時～7 時までご利用の場合25%オフとなる割引プランです。

・開館日：月曜日から土曜日(祝日/年末年始を除く) ・開館時間：07:30～22:00

②交流カフェ「エキスパート倶楽部」貸し出し

ランチ・カフェサービス(平日 11:30～15:00)以外の時間帯は、レンタルスペースとしてご提供(貸切、予約制)します。ランチ・カフェサービス後(15:00 以降)の講習会/会議、夕刻や土日の交流会・パーティ利用について、稼働率の向上をめざしました。

③ラウンジ貸出(TV 会議スペース)

メンバー限定に貸し出を行う最大 16 名で利用できる TV 会議スペース。テレビ会議がスタジオ、ラウンジの 2 ヶ所でご利用いただけるようになり、ラウンジの貸し出しも徐々に増えてきています。55 インチディスプレイ(2 台)、デジタルオーディオシステム、HD 対応 TV 会議システム、光回線を備えています。

④ホワイエの利用(メンバー専用 PC スペース)

ホワイエに 4 席、メンバー専用の PC 席を設けています。

図-5 施設利用者数のべ人数

	スタジオ				ホワイエ (PC席)	エキスパート倶楽部				KK2施設 利用者数 合計
	利用者数計	KK2主催事業 参加者	レンタル スペース 利用者	貸出回数		利用者数計	ランチ利用者	パーティ 参加者	貸出回数	
平成26年度	5,576名	1,333名	4,243名	304回	263名	15,607名	11,945名	3,662名	111回	25,426名
平成25年度	5,878名	1,245名	4,633名		599名	16,089名	12,613名	3,476名		26,600名

※協賛プログラム参加者、カウンセリングプログラムは、KK2主催事業に含む

(2) 人と人の絆と地域の再生

-1 大船渡市「デジタル公民館まっさき」事業

前年度自主事業で実施した本事業は「平成 26 年度 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」(文科省・復興庁)の採択を受け、平成 24 年度と同様、大船渡市末崎地区公民館、大船渡市教育委員会、当財団を中心とする任意団体「大船渡市「デジタル公民館まっさき」運営協議会」を組織して実施しました。事業委託契約期間は 4 月 1 日～翌年の 3 月 31 日までとなっており、活動地域の大船渡市末崎町にて年間を通じてコンスタントに事業を行うことができ、大きな成果を上げることができました。

図-6 活動日程と活動支援者数

開催回	開催日	活動支援者数
第1回	5月17日(土)～18日(日)	9名
第2回	7月12日(土)～13日(日)、 7月26日(土)～27日(日)	2名
第3回	9月1日(土)～2日(月)	10名
第4回	11月 8日(土)～ 9日(日)	12名
第5回	12月13日(土)～ 14日(日)	10名
第6回	2015年 2月14日(土)～15日(日)	14名
合計		57名

①被災による課題

a. ICT 環境の不足

被災前から公民館にはインターネット環境やパソコンがなく、公民館も住民も情報の入手や情報発信にたいへん遅れており、復興に向けたコミュニティづくりのネックになっていました。津波でパソコンを流された方も多く、パソコンの新規購入にあたり最近の状況、活用について知りたい、学びたいとするニーズに気軽に相談できる場がありませんでした。

b. 学びの機会、社会教育の不足

公民館には嘱託職員・パートタイマーとして施設管理者はいるものの、学びを通じて地域の課題解決に取り組む体制はなく、公民館も住民も社会教育から遠のいています。被災により公民館や館長には地域の取りまとめ等の期待が集まり、奮闘努力を続けていますが、人、金、物がネックになっていました。

②住民等からの要望・必要な取り組み

a. 地域活動や暮らしに役立つ ICT 活用を身につけたい

- 1) 末崎地区公民館へのパソコン、インターネット環境等情報インフラの整備
- 2) パソコン、インターネットなどの操作、スキルの向上、SNS 活用支援、指導
- 3) デジタル公民館モデルづくり(公民館情報のネット公開、地域情報の発信、活動内容のライブラリー化、FB による情報共有と交流)

b. お年寄りから子供まで、暮らして楽しい、住み続けたいまちにしたい

- 1) 戦後復興に公民館が果たした機能や役割の再確認
- 2) 公民館による社会教育(人づくり、学びの機会づくり、ネットワークづくり)の再構築

③協力を呼びかけた団体・関係者と役割分担

a. 地域住民の ICT 活用支援 霞が関ナレッジスクエア・活動支援スタッフ

PC・ネットよろず相談 大学講師リーダーを中心に IT 企業勤務者ら ICT 活用に精通したスタッフが一人一人の住民に寄り添う活動を実施することとし、事務局の霞が関ナレッジスクエアでスタッフ募集とチーム編成を担当しました。

b. 基石地域復興協議会・独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所無形文化遺産部

- 1)「ごいし民俗誌」勉強会の企画・運営協力、参加者集め
- 2)「ごいし民俗誌」勉強会への講師派遣、冊子データの提供

c. どこ竹@武蔵三鷹 まっさきグループ /どこ竹:武蔵野三鷹

- 1)親子竹とんぼ教室、飛ばし遊び、ボランティア活動への竹とんぼ提供、ミニ門松づくりなどのプログラムの企画・講師、運営協力・参加者集め
- 2)サポーターの派遣、助言

d. 運営協議会女性委員

(3名:末崎町婦人会、末崎町更生保護女性の会 NPO 法人“居場所”創造プロジェクト)

- 1)長洞元気村なでしこ会に学び交流する活動、郷土の行事・暮らし・文化等を多世代で学び合うふれあいキッズデープログラムの企画・講師・運営協力・参加者集め
- 2)会場の運営・居場所おたすけ隊によるボランティア・、語り部等の協力

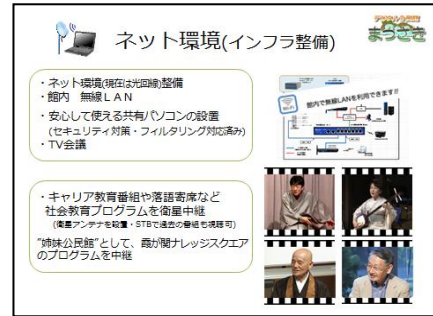
e. (株)タフジャパン／大船渡市第4消防団

- 1)消防団、消防団後援会、婦人防火クラブなどの方々と末崎町の住民が共に学び、共に考え、共に担う社会づくりに向けたニーズ調査とプログラムの企画、講師
- 2)調査協力・運営協力・参加者集め

④実施した事業の概要

a. ICT 活用環境の整備

前年度に続き末崎地区公民館に光回線と無線 LAN、ノート PC によるインターネット環境とテレビ会議、CS 受信環境 (JCSAT 2A 受信アンテナ・コンテンツ蓄積サーバ) を設置、また小中井仮設住宅集会所に光回線と無線 LAN、ノート PC によるインターネット環境を提供し、霞が関ナレッジスクエアの VPN 傘下で有害情報のフィルタリングを含め、システムの運用管理を実施しました。



b. PC・ネットよろず相談

地域住民の ICT 活用支援として定期的に訪問し、一人ひとりのお困りごとに寄り添うスタイルでパソコン基本操作、活用スキル、インターネット・SNS 活用スキルなどを指導、アドバイスを行いました。これにより、参加者それぞれがスキルアップするとともに ICT 活用レベル、範囲などが広がりました。

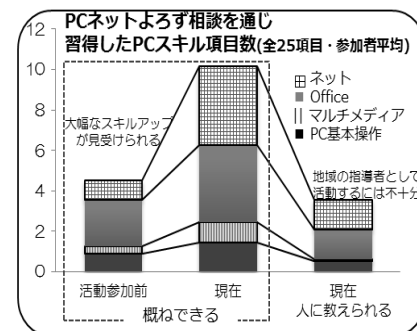
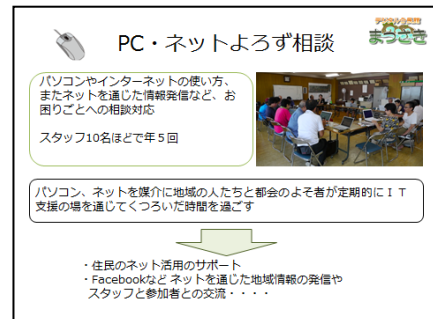
また、被災時のことや被災前の地域ことなどをお話してくれる方も出てきて、参加者にとっては「パソコン」をベースにした

自分の居場所が定期的に出現し、地道に継続することで参加者の増加をもたらしました。東京から訪問する活動支援スタッフにとっても、教える、指導する、という立場を越えて“人と人のふれあい”のある活動から充実感が得られ、普段の仕事や地域・家族との生活へも好影響をもたらしました。

PC ネットよろず相談で多く寄せられる項目を中心に、重要なパソコンスキルを 25 項目設定し、各項目に対し「未経験」「利用を始めた」「自分で少しできるようになった」「概ねできるようになった」「人に教えられるようになった」の 5 段階で参加者の実力調査を行いました。

2 月までの活動を通じて聞き取りを行った 11 人に対し、PC ネットよろず相談「参加前」と「現在」について、比較集計した結果、「概ねできるようになった」項目がグラフのように各人平均して 4.5 項目から 10 項目へと向上が見受けられました。特に、ネット／応用・SNS (全 8 項目) は 1 項目から 3.9 項目へ大きく伸びており、現地にインターネット教室がない末崎町において、PC ネットよろず相談がネット活用のスキルアップに重要な役割を果たしていると言えます。

しかし末崎町の方々に自立した PC ネットよろず相談を行うには、「人に教えられるようになった」項目はまだ 3.5 項目に過ぎず、現地の指導者として活動するにはまだスキルが不十分な状態といえます。



c. ごいし民俗誌勉強会

東京文化財研究所無形文化遺産部が末崎町碁石地区（旧泊里 5 部落）を民俗学の視点から調査してまとめた「ごいし民俗誌」について、調査した研究者を講師に招いて、経緯、趣旨、内容、民俗学と震災復興、無形文化遺産と郷土のアイデンティティなどについて講演していただいたところ、調査に協力した住民から書かれていないことの指摘や自分は「こういう話を知っている」などの意見が多数出され、これをきっかけに 27 年度以降は、住民自身による調査を行い、不足している事柄を補充してより充実したものにバージョンアップすることになりました。



d. シニアの出番づくり事業

どこ竹@武蔵野三鷹まっさきグループと協働し、女性と違って引っ込みがちな男性シニアに地域の出番と役割を創出することとし、グループの自主活動と連携し、竹とんぼ講師養成講座、親子竹とんぼワークショップ、ミニ門松づくりワークショップ等を実施しました。これらの活動について、昨年度は活動支援スタッフ主体のものだったが 26 年度はまっさきグループ主体で行われました。



e. ふれあいキッズデーin 居場所ハウス

NPO 法人「居場所」創造プロジェクトと住民スタッフが運営する「ハネウェル居場所ハウス」を会場に 10 月～3 月まで毎月第 3 土曜日を基本に子ども、保護者、地域の高齢者ら多世代が交流する学びの機会を設け、とかく高齢者のたまり場になりがちな地域の居場所を多世代が集い地域の伝統行事や暮らしを伝え学び合う場となりました。子どもが主役の学びの場を高齢者がサポートすることで、他地域から末崎町に来られた母親と地域の高齢者がふれ合う場にもなり、NPO 法人と地域住民による活動プログラムのバリエーションを広げました。

f. 絆づくりと地域を守る消防団

霞が関ナレッジスクエア事業の霞が関防災キャンプで講師を担当いただいている鎌田修広さん（鎌田代表）に大船渡市第 4 消防団側のニーズ調査とプログラム企画を依頼し、「絆づくりと地域を守る消防団」を実施、消防団、消防団の OB で構成する消防後援会、婦人防火クラブ、一般住民らが参加して住民に消防団の現状や課題を知っていただき、連携を深める契機となりました。消防団が地域の方と一緒にこのような学びの場を持つことは初めての試みでした。

g. ICT による情報発信、情報交流

「デジタル公民館まっさき」Web サイト(公式サイト)、「デジタル公民館まっさき」フェイスブック、「デジタル公民館まっさき 関係者グループ」フェイスブック、メーリングリストなどの活用により、地域の方と活動スタッフ、末崎町出身者などの情報共有や末崎町の地域情報の発信を行いました。PC・ネットよろず相談で写真取り込みやフェイスブック活用を身に付けた方々がこれらの SNS を活用してスキルとセンスに磨きをかけました。

公民館からの情報発信

デジタル公民館まっさき
<http://www.masaki.jp/>

- ・ イベント告知
- ・ 地域情報発信
- ・ 館報を掲載
- ・ 館内利用状況を公開
- ・ 過去の講演動画
- ・ 社会教育プログラムを配信
- ・ 「末崎わかめ」の情報発信
- ・ 竹とんぼグループの活動 etc.

Webサイトによる活動報告と地域情報の発信をはじめ、メーリングリスト、Facebookなど SNS による活動スタッフと参加者の交流を図っている。ただし住民参加者の輪は少しずつ広がってきているが、公民館関係者や地域のリーダー層への浸透は進んでいない。

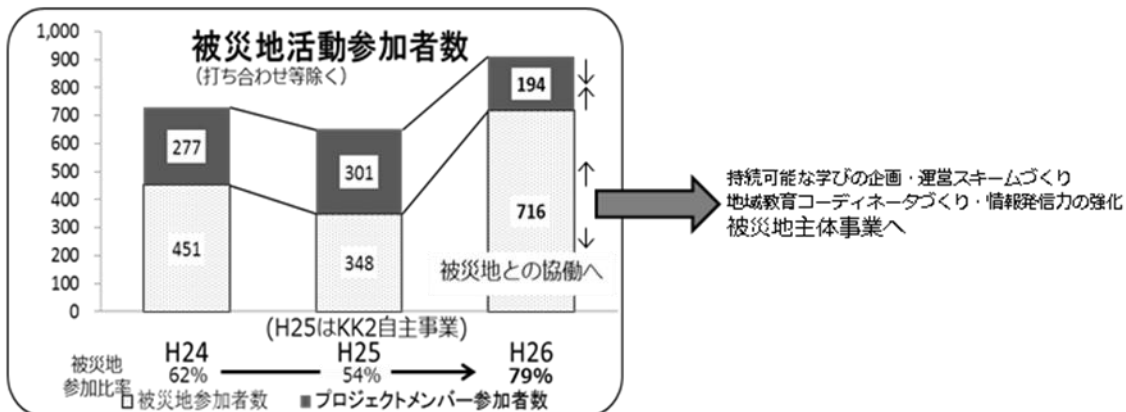
Web サイト「デジタル公民館まっさき」



Facebook「デジタル公民館まっさき」



⑤ 学びのプログラムなど事業実施数とスタッフ・現地参加者数



1. 運営協議会		被災地				プロジェクトメンバー	総計
		講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2014年4月19日(土) 18:30～20:30	第1回 運営協議会 委員会	9名			9名	5名	14名
6月7日(土) 18:30～20:30	第2回 運営協議会 委員会	9名	4名		13名	5名	18名
9月2日(火) 18:30～20:30	第3回 運営協議会 委員会	6名			6名	2名	8名
1月10日(土) 18:30～20:30	第4回 運営協議会 委員会	7名			7名	4名	11名
日程未定	第5回 運営協議会 委員会						

2. 研修会・講習会事業		被災地				プロジェクトメンバー	総計
		講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2014年5月18日(日) 13:00～16:00	まっさきに学ぶ！第1回「ごいし民俗誌 勉強会」	2名		15名	17名	14名	31名
7月26日(土) 14:00～16:00	吉田力男(語り部)	1名			1名	2名	3名
9月1日(月) 13:30～16:00	まっさきに学ぶ！第2回「ごいし民俗誌 勉強会」	2名		8名	10名	11名	21名
12月14日(日) 14:15～15:30	吉田力男(語り部)12月	1名			1名	9名	10名
2015年2月15日(日) 9:30～12:00	まっさきに学ぶ！第3回「ごいし民俗誌 勉強会」	2名		14名	16名	15名	31名
2014年5月17日(土) 13:30～15:30	「長洞元気村のなでしこ会の暮らしづくりとIT活用を学ぼう」	5名		12名	17名	13名	30名
12月13日(土) 18:00～19:45	「長洞元気村の未来づくりを学ぼう」	2名	2名	1名	5名	7名	12名
2015年2月14日(土) 13:30～15:00	「気仙ボケー座 まっさき公演」		14名	68名	82名	14名	96名
2014年9月1日(土) 18:30～21:00	絆づくりと地域を守る消防団	1名		22名	23名	11名	34名

3. 地域における学習活動						
		被災地				プロジェクトメンバー
		講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ
2014年11月15日(日) 13:30～15:30 竹とんぼ飛ばし遊び (*キッズデー11月と共通)		4名	2名	16名	22名	1名
12月14日(日) 9:00～12:00 ミニ門松作り		1名	6名	34名	41名	3名
2014年11月8日(土) 18:30～22:00 映画「永遠の0」上映			3名	33名	36名	12名
12月13日(土) 17:30～19:30 映画「名探偵コナン 漆黒の追跡者」上映			4名	6名	10名	3名
12月21日(日) 17:30～19:30 映画「サンタクロースになった少年」上映(岩手県教育委員会の事業と連携)		3名	2名	15名	20名	1名
2015年3月7日(日) 14:00～16:15 映画「夢は牛のお医者さん」上映【予定】						
2014年5月17日(土)～18日(日) PCネットよろず相談 3コマ 7時間				15名	15名	13名
9月13日(月)～15日(火) PCネットよろず相談 2コマ 5.5時間				7名	7名	10名
11月8日(土)～9日(日) PCネットよろず相談 3コマ 8.5時間				25名	25名	12名
12月13日(土)～14日(日) PCネットよろず相談 3コマ 8.5時間				33名	33名	10名
2015年2月14日(土)～15日(日) PCネットよろず相談 3コマ 7時間				25名	25名	14名
※ 各コマ総計の参加者数						

4. 土曜日等を中心とした子ども学習活動						
		被災地				プロジェクトメンバー
		講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ
2014年10月18日(日) 13:30～15:30 ふれあいキッズデー in 居場所ハウス		3名	3名	17名	23名	1名
11月15日(日) 13:30～15:30 ふれあいキッズデー in 居場所ハウス		3名	3名	16名	22名	1名
12月21日(日) 9:00～15:30 ふれあいキッズデー in 居場所ハウス		3名	46名	80名	129名	1名
2015年1月10日(土) 13:30～15:30 ふれあいキッズデー in 居場所ハウス		3名	9名	23名	35名	1名
2月21日(土) 13:30～15:30【予定】 ふれあいキッズデー in 居場所ハウス						
3月14日(土) 13:30～15:30【予定】 ふれあいキッズデー in 居場所ハウス						
		講師・スタッフ	協力者	参加者	被災地小計	プロジェクトメンバー小計
						総計
	1. 運営協議会	31名	4名	0名	35名	16名
	2. 研修会・講習会事業	16名	16名	140名	172名	96名
	3. 地域における学習活動	8名	17名	209名	234名	79名
	4. 土曜日等を中心とした子ども学習活動	12名	61名	136名	209名	4名
	総計	67名	98名	485名	650名	195名

⑥ 「デジタル公民館」の映像コンテンツ公開

今年度事業を通じて下記 12 本の映像コンテンツを制作しました。デジタル公民館まっさき Web サイトで公開し、まっさきや学びの情報を広く発信しています。

図-7「デジタル公民館まっさき活動」公開動画

開催回	公開動画	講師（敬称略）
第1回	「気仙に学ぶ！」講演「長洞元気村なでしこ会の活動」	村上陽子、戸羽八重子 長洞元気村 なでしこ会
	「まっさきに学ぶ！」講演「民俗誌講座」	久保田裕道 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 無形文化遺産部 無形民俗文化財研究室長 博士
	「まっさきに学ぶ！」講演「ごいし民俗誌解説」	
	「まっさきに学ぶ！」意見交換「ごいし民俗誌発刊後の意見交換」	
第2回	「まっさきに学ぶ！」『住まいと仕事 津波への備え』	吉田力男 大船渡市漁業協働組合 理事、泊里漁港期成同盟 会長
	「まっさきに学ぶ！」『復活した碁石海岸穴通船』	協力：碁石小型観光遊覧船組合 組合長・大磯正一朗
第3回	『絆づくりと地域を守る消防団』	鎌田修広 株式会社タフ・ジャパン 代表取締役
	「まっさきに学ぶ！」『震災と民俗学』	俵木 悟 成城大学文学部文化史学科 准教授
	「まっさきに学ぶ！」『古地図を読む』	
第4回	「気仙に学ぶ！」『まちおもしろフォト』	企画：大船渡市「デジタル公民館まっさき」運営協議会 制作：株式会社メディアリンク
第6回	「気仙ボケー座」まっさき公演	ボランティア劇団『気仙ボケー座』
	「まっさきに学ぶ！」『「ごいし民俗誌」暮らしの記憶を記録する』	今石 みぎわ 東京文化財研究所 無形文化遺産部



⑦ KK²プログラムライブ中継(KK²まっさきふるさとセンター)

a. 双方向テレビ会議中継

1) 濱守栄子ワンマンライブ

「My Route ～「じゃあね。」また帰ってくるから～」

日時 6月13日 19:15～21:00



2) 映画会「夢は牛のお医者さん」

上映後のトークイベントをテレビ会議中継しました。

日時 3月7日 14:00～16:00



b. 衛星ライブ中継

以下の KK²プログラムについて、衛星ライブ中継を行いました。

図-8 衛星ライブ中継 プログラム

2014年4月25日(金) 19:00～20:10	春のノスタルジア 日米音楽条約!!
5月20日(火) 18:00～20:00	バロックのひととき
5月28日(水) 19:00～20:30	霞が関寄席 馬吉・駒与志
6月13日(金) 19:15～21:00	濱守栄子ワンマンライブ
7月3日(木) 19:00～20:30	美人古事記 ～神楽笛と講談でお届けする～
9月19日(金) 19:00～20:30	4人でお届けする素敵なハーモニー
9月26日(金) 18:30～20:00	キャリア教育番組「エキスパートスタジオ」 ゲスト: 楠見敦美(株式会社カジタク取締役)
10月6日(月) 18:30～20:00	キャリア教育番組「エキスパートスタジオ」 ゲスト: 吉原なみ子(JICA感染症専門家)
11月19日(水) 19:30～21:00	美人古事記 ～神楽笛と講談でお届けする～
12月1日(月) 18:30～20:30	キャリア教育番組「エキスパートスタジオ」 ゲスト: 石原端子(プロゴルファー・沖縄大学講師)
12月10日(水) 19:00～20:30	歌とキーボードによるクリスマス音楽のタベ

⑧ 公民館のネット・インフラの整備による成果

Web サイト・メールサーバ構築運用、Facebook 情報交流を行いました。

- 館内 PC・ネットワーク利用時間(3箇所計) 月平均 172 時間(昨年度 118 時間)
- “デジタル公民館まっさき”Web サイト記事投稿 59 件(うち現地からの発信 17 件/昨年度 0 件)
- 映像コンテンツ制作:14 本(うち 12 本公開、2 本記録)

-2 災強！震が関防災キャンプ ～帰宅困難を体験して「防災体質」になろう～

災害発生により帰宅困難者となったという想定で、参加者は制約のある環境の中、見知らぬ者同士で助け合いながら一晩を過ごすプログラムです。体験を通じて自分たちで考え、学び、気づきを得ることを目的としています。プログラム終了後もメーリングリストで約20日間講師と参加者が交流を行い、各人の防災課題をクリアすることで、防災意識を継続し本当の「防災体質」を目指します。今年度は2回の開催を予定していましたが、最少催行人数に達しなかったため第4回を中止とし、第5回は5歳から65歳以上の様々な年代の方13名に参加していただきました。

災強！震が関防災キャンプ風景



図-9 「災強！震が関防災キャンプ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第4回 災強！震が関防災キャンプ	2014/8/22(金)	中止				434名	431名	3名	434名
第5回 災強！震が関防災キャンプ	2015/3/13(金)	13名	5名	5名	3名	275名	206名	69名	288名
合 計		13名	5名	5名	3名	709名	637名	72名	722名

-3 心と体のストレッチ ～身につけよう、キズナチカラ～【新プログラム】

「日常」の積み重ねが「非日常」を超える！をテーマに、日々自分の心と体に向き合うことの大切さ、人と人とのきずなづくりの大切さについて実感できるプログラムを企画し、12月より月に1回、3回開催し、57名の方に参加していただきました。

心と体のストレッチ風景



図-10 「心と体のストレッチ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第1回 「心遣いを学ぶ ～自分と相手のために時間を注ぐ～」	2014/12/5(金)	20名	4名	8名	8名	307名	230名	77名	327名
第2回 「腰痛予防 ～生き方のくせに向き合い、正しい軸を作る～」	2015/1/16(金)	21名	9名	6名	6名	269名	208名	61名	290名
第3回 「防災体育 ～正しい“お姫様抱っこ”とは？搬送からお互い様を知る～」	2015/2/20(金)	16名	8名	2名	6名	208名	158名	50名	224名
合 計		57名	21名	16名	20名	784名	596名	188名	841名

-4 官民交流の場の提供

「KK² オープンランチミーティング」は、東日本大震災発災をきっかけに復興支援に向けた情報交換の場としてスタート。行政、NPO、企業、大学など様々な分野の若手が集まり情報交換、交流を目的としています。

今年度は、毎月1回第2水曜日もしくは第2木曜日の12時～13時15分、ラウンジで実施、講師は毎回2名、テーマは東日本大震災や福島原発などの被災地の復興支援、ソーシャルビジネス、学校と地域の連携、中央省庁の政策・・・など多様。フェイスブックの非開グループとイベント機能を活用して、企画連絡調整、広報、参加者管理等を行いました。

ランチは各自持ち込み、参加費は一人500円、定員14名を目途とし、中央省庁の官僚・民間からの出向者、大学教育関係者、企業のCSR部門、NPO法人、各種団体、弁護士等が毎回15名程度参加。多様な視点からの意見交換、立場を越えた課題の共有、産官学民のネットワークづくりを推進しました。今年度は13回開催し、参加者数はのべ200名でした。

KK²ランチミーティング風景



また「霞が関ばたけ」は、農林水産省の有志が主催し、産学官で農業に興味がある人が集まり、六次産業化や食についての早朝勉強会を隔週行っています。今年度は、23回開催し、参加者数はのべ284名でした。

-5 命をつなぐポジティブ防災 ～2日間で市民救助隊(CFR)隊員を訓練します～

大規模災害が発生すると、ライフラインや警察、消防といったあらゆる機能が麻痺し被災者は一時的に孤立無援の状況に陥ります。その中でいかに自分の家族とコミュニティを守り生き延びるための基本的な学びを行う2日間の市民救助隊(Community First Responder)養成訓練です。

今年度は開催しませんでした。

命をつなぐポジティブ防災風景



(3)しごと力向上・エキスパートと学ぶ

-1 キャリア教育プログラム「エキスパート・スタジオ」～社会で活躍する人のしごと力を学ぶ～

「エキスパート・スタジオ」は、様々な分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え、「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」について考え学ぶインタビュー形式のキャリア教育プログラムです。ゲストは、さまざまな職業で活躍する若い世代から、人生二周目で社会の課題解決に挑戦するアクティブシニアまで、目の前の課題に全力で挑戦するエキスパート達です。生涯現役版「エキスパート・スタジオ」(前述(4)-1参照)を含め、今年度5名の方に登場いただき、これまで紹介したエキスパートは35名となりました。

「エキスパート・スタジオ」Webコンテンツ



図-11「エキスパート・スタジオ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第31回 楠見敦美さん(株式会社カジタク)	2014/9/26(金)	14名	6名	6名	2名	799名	694名	105名	837名
第33回 石原端子さん(沖縄大学教授)	2014/12/1(月)	22名	9名	9名	4名	407名	293名	114名	446名
第34回 西島克博さん(ANA人財大学)	2015/2/26(木)	47名	2名	13名	35名	1,027名	389名	638名	1,074名
第35回 大宮航時さん(JICA)	2015/3/26(木)	36名	2名	29名	4名	813名	297名	516名	876名
合 計		119名	19名	57名	45名	3,046名	1,673名	1,373名	3,233名



第 31 回 楠見敦美さん



第 33 回 石原端子さん



第 34 回 西島克博さん



第 35 回 大宮航時さん

図-12「エキスパート・スタジオ」ゲストのコンピテンシー

プログラム	人間力				知・考力				行動力 実行力
	自己 認識 力	マ ネ ジ メ ン ト カ	共 感 力	ケ コ ミ ュ ニ カ	状 況 把 握 力	原 因 究 明 力	選 択 決 定 力	リ ス ク 分 析 力	
第31回 楠見敦美さん(株式会社カジタク)	●						●		
第33回 石原端子さん(沖縄大学教授)	●						●		
第34回 西島克博さん(ANA人財大学)			●	●					
第35回 大宮航時さん(JICA)						●			●

-2 コンピテンシー・チェック ～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel(人間力)、Think(知・考力)、Act(行動力)」について理解し、自分自身の学習課題を知る Web 学習プログラムです。今年度は、Web から 48 名に利用していただきました。

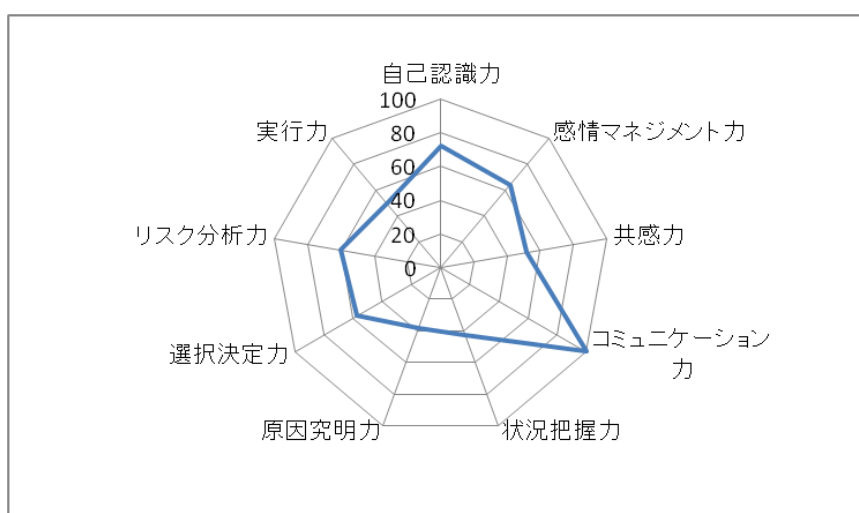
なお、学習者を LMS で管理し個人の学習履歴を提供するサービスも行っており、継続的に早稲田大学人間科学部の講座で活用いただいています。今年度は 132 名に受講者していただきました。

コンピテンシー・チェック受講 Web 画面



図-13 コンピテンシー・チェック平均スコア(KK² Web での受講者)

	講座名	ケーススタディ	理解度 平均スコア
人間力	自己認識力	「就職活動」	72
	感情マネジメント力	「年下の上司」	64
	共感力	「父親の転職」	52
	コミュニケーション力	「バイトのシフト交替」	100
知・考力	状況把握力	「町のゴミ問題」	43
	原因究明力	「パソコン故障の原因」	38
	選択決定力	「妹の進路決定」	57
	リスク分析力	「犬小屋づくり」	60
行動力	実行力	「アイスホッケーのスターになるために」	50



-3 しごと力道場 ～思考力を高める対話型トレーニング～

「しごと力道場」は、多様なジャンルの人が集い、交流する他流試合の場です。定員 10 名の少人数の参加者で、普遍的なテーマについてじっくりディスカッションを行い、本質的な理解を深め、グローバルなしごと力を磨きます。今年度は3回開催し、26名の方に参加していただきました。

また、継続的な参加で効果が上がるトレーニングのため段位認定を設けています。参加回数に応じて、白帯(1回)、茶帯(3回)、黒帯(5回)の認定証の発行を行っており、現在 黒帯 2名、茶帯 2名、白帯 44名となっています。

「しごと力道場」風景



[ディスカッションテーマ]

2014 年 6 月 7 日(土)開催第 6 回

「人材育成とは～部下育成と子育ては何が違うのか」

2014 年 10 月 4 日(土)開催 第 7 回

「ワークライフバランスとは？」

～何が”ワーク”で、何が”ライフ”か？～

2015 年 2 月 7 日(土)開催 第 8 回

「プロとは何か～羽生結弦選手が、プロでないのはなぜか？～」

[しごと力道場 認定証]

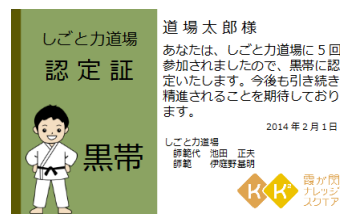


図-14 「しごと力道場」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第6回 KK2しごと力道場	2014/6/7(土)	8名	3名	0名	5名	206名	206名	0名	214名
第7回 KK2しごと力道場	2014/10/4(土)	7名	3名	4名	0名	44名	44名	0名	51名
第8回 KK2しごと力道場	2015/2/7(土)	11名	3名	5名	3名	168名	138名	30名	179名
合 計		26名	9名	9名	8名	418名	388名	30名	444名

-4 しごと力向上ライブラリ ～いつでも、どこでも、誰でも、しごと力を学べる～

仕事や社会活動に必要な知識、スキルの習得に役立つ教材を毎月 1 本開発公開する「しごと力向上ライブラリ」。いつでも、どこでも学べる教材を無料で学んでいただけます。今年度は以下の 8 講座 12 単元を開発し、これまでに公開した講座は 72 講座 204 単元となっています。講座の企画開発は、講師のみなさんに無償でご協力いただき感謝しております。

図-15 平成 26 年度公開「しごと力向上ライブラリ」(8 講座)



苦情・クレーム対応入門編



グローバル人材とは



今すぐはじめる BCP シリーズ



営業秘密の管理対策



従業員満足 (ES) の基本を学ぶ



グローバル市場での
人材マッチング



論理的な文章の書き方



知っておきたい
生命保険の基礎知識

プログラム名	単元名	公開日	講師（敬称略）
苦情・クレーム対応入門編	～お客様のお申し出に的確に対応できますか～	2014/4/24(木)	地村健太郎 日本アイラックセールスアンドマネジメント株式会社 代表取締役 日本代協認定保険代理士
グローバル人材とは	1.グローバル人材とは何か	2014/5/29(木)	伊庭野基明 グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ
	2.グローバル人材の要件	2014/6/26(木)	
今すぐはじめるBCPシリーズ	4.お客様価値を守るBCPとは？	2014/7/31(木)	秋月雅史 株式会社レックスマネジメント 代表取締役
営業秘密の管理対策 ～不正競争防止法の視点から～	営業秘密の管理対策 ～不正競争防止法の視点から～	2014/8/27(水)	大西 周 情報セキュリティアドバイザー
従業員満足(ES)の基本を学ぶ ～働きがいのある職場づくりのために～	従業員満足(ES)の基本を学ぶ ～働きがいのある職場づくりのために～	2014/9/25(木)	志澤 秀一 株式会社文化計画代表
グローバル市場での人材マッチング	グローバル市場での人材マッチング	2014/10/30(木)	伊庭野基明 グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ
論理的な文章の書き方 相手に伝わる文章を書く その3	1.概要 -文章を書く-	2014/11/27(木)	成田秀夫 河合塾教育研究開発本部開発研究職 堀上品子 河合塾キャリア教育事業部 講師
	2.相手に伝わる文章を書く その2	2014/12/26(金)	
	3.相手に伝わる文章を書く その3	2015/1/29(木)	
知っておきたい生命保険の基礎知識	1.リスクに備える生命保険	2015/2/26(木)	正殿博章 ニッセイ保険エージェンシー株式会社 代表取締役社長
	2.生命保険の種類・保険料・配当	2015/3/26(木)	
合計			

-5 霞が関カウンセリングプログラム ～経験豊かな専門家にキャリアについて相談～

「仕事」とは何か、そして自分にふさわしい「仕事」とは何なのかを模索している若い世代に対して、「しごと」そのものについて考えるきっかけを多くの若い世代に提供したいと考え「霞が関カウンセリングプログラム」を開設しました。

今年度は62名の方にカウンセリングを実施しました。年齢別では、35歳～49歳のリーダー層が約6割、相談事項については、転職が約7割となっています。

カウンセラーは特定非営利活動法人日本キャリア開発協会(JCDA)と提携し、JCDA キャリア・ディベロップメント・アドバイザーの方に主に担当していただいております。月曜日から金曜日まで週5日、16:00以降4コマ(約45分)となっています。初回無料、2回目以降は有償(4,320円 税込/平成25年1月より)。

図-16 平成26年度 霞が関カウンセリングプログラム実施状況(62名)

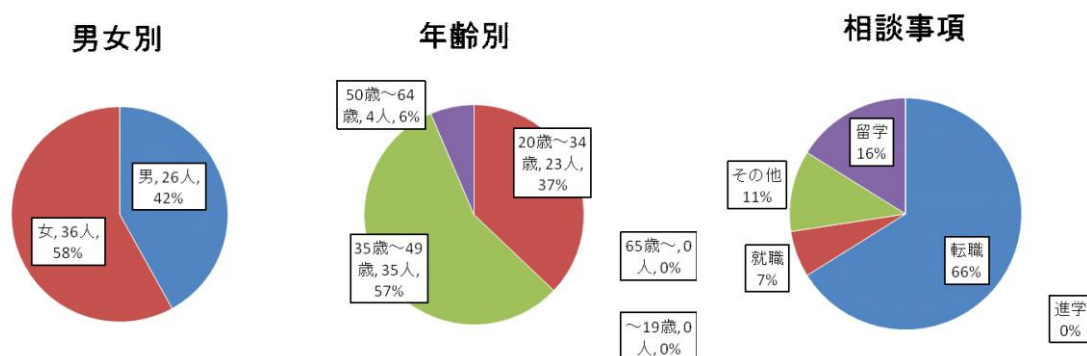


図-17 キャリアカウンセラー (平成27年3月31日現在/敬称略)

カウンセラー	担当曜日	カウンセラー	担当曜日
 徳橋英治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	月曜日	 堀田治見氏 株式会社ビジネスパラダイム(日本)代表取締役	火曜日
 垣内啓江氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	水曜日	 池田秀治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	木曜日
 田代理恵氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	金曜日	 伊庭野基明氏 グローバルキャリアカウンセラー	アドバイザー

-6 キャリアカフェ

カウンセリングプログラムのカウンセラーのみなさんと一緒に企画しているプログラム。ユニークな経歴の方々をメンターとして招き、キャリアについて気軽に語り合う場です。司会者と 10 人程度の参加者で率直な質疑と交流を行います。今年度は 2 回開催し、23 名の方に参加していただきました。

キャリアカフェ風景



図-18 「キャリアカフェ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第11回 小杉卓さん (日本マイクロソフト株式会社勤務、書道家)	2014/4/17(木)	13名	9名	1名	3名	353名	341名	12名	366名
第12回 KERAさん (ダンス エンターティナー)	2014/9/11(木)	10名	3名	3名	4名	379名	356名	23名	389名
合 計		23名	12名	4名	7名	732名	697名	35名	755名



第 11 回 小杉卓さん



第 12 回 KERA さん

-7 KK²good books ～KK²おすすめ書籍情報～

KK²では、良い本を読みたいが、選ぶ時間がとれない忙しいみなさんに良書を推薦しています。
(1)人と人の絆と地域の再生、(2)しごと力向上・エキスパートと学ぶ、(3)社会の課題を担うアクティビニシアを応援、という三つの視点でピックアップした図書を定例委員会で厳選し、500文字程度の紹介文を付け、カテゴリー分類をした上で、平成26度は118冊紹介しました。トータルでは298冊となります。

-8 イノベーションプログラム ～産学官連携による大学教育改革プログラム～

「産学官連携」「大学間連携」といった大学の地域での様々な活動(Good Practice)を紹介するプログラムです。

今年度は、伊藤健二主席研究員を中心に、「地域名産品の開発・発信における産学連携ー地域創生に向けた、農水省の政策と大学の役割ー」をテーマに1回開催し、21名の方に参加していただきました。「農林漁業の6次産業化の展開」(農林水産省食料産業局産業連携課 課長補佐 窪山富士男氏)、「大学が進める 特産品を活用した商品開発の現場～GGJ・COC・AP

を活用した地域(産業)人材育成と グローカル化貢献・地元とどまり促進による地方創成試案～」(共愛学園前橋国際大学 副学長、地域共生研究センター長 大森 昭生氏)の講演後、地域活性化、ふるさと創生について、熱心な討議が行われました。

「イノベーションプログラム」風景



図-19 「イノベーションプログラム」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	会場別内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		本県地区公 民館(衛星)	県内元来村 (衛星)	職場・自宅 ライブ配信		PC	スマホ	
第18回「地域名産品の開発・発信における産学連携ー地域創生に向けた、農水省の政策と大学の役割ー」	2014/12/11(木)	21名	3名	11名	7名	12名			12名	359名	270名	89名	392名
合 計		21名	3名	11名	7名	12名			12名	359名	270名	89名	392名

(4) 社会の課題を担うアクティブシニアを応援

この国の経済生活基盤の再生を図るには、「シニア」の経験と知恵と力が必要不可欠です。社会の課題解決にチャレンジする元気な「シニア」の活動を応援します。

-1 生涯現役版「エキスパート・スタジオ」

現役を引退後、新たなフィールドでまたこれまでの経験を活用して課題解決に活躍するシニアをゲストに迎え、人生二周目のやりがい・生きがいやこれからの夢などを語っていただきます。「生涯現役社会」といわれる一方、実際には社会に受け皿が少ないのが実情です。活躍するシニアの方々を紹介する「エキスパート・スタジオ」を積み上げていくとで、生涯現役のロールモデルを見つけていただきたいと思います。

今年度は、独立行政法人国際協力機構(JICA)の感染症専門家として活躍する吉原なみ子さんをご紹介します。国立感染症研究所を定年退官した後も継続的に、海外の感染症対策医療人材育成にエネルギーを傾けており70歳を超えて生涯現役として活躍されています。

*「前述 (3)しごと力向上・エキスパートと学ぶ -1 キャリア教育プログラム「エキスパート・スタジオ」の一環でアクティブシニアをご紹介します。

図-20 生涯現役版「エキスパート・スタジオ」参加者

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	会場別内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		実地地区公 民館(衛星)	長崎元北村 (衛星)	職場・自宅 ライブ配信		PC	スマホ	
第32回 吉原なみ子さん	2014/10/6(月)	19名	3名	7名	9名	32名	1名	4名	27名	198名	184名	14名	249名
合 計		19名	3名	7名	9名	32名	1名	4名	27名	198名	184名	14名	249名



第 32 回 吉原 なみ子さん

図-21 生涯現役版「エキスパート・スタジオ」ゲストコンピテンシー

プログラム	人間力				知・考力				行動力
	自己認識力	感情マネジメント力	共感力	コミュニケーション力	状況把握力	原因究明力	選択決定力	リスク分析力	実行力
第32回 吉原なみ子さん(JICA感染症専門家)					●	●			

-2 KK²オリジナル DVD ライブラリ頒布～生涯現役版「エキスパート・スタジオ」～

「エキスパート・スタジオ」は Web で公開していますが、DVD のご要望が高いプログラムを「KK²オリジナル DVD ライブラリ」として頒布しています。

現在は、地域再生をテーマに活躍している第 22 回 高野 誠鮮さん(石川県羽咋市役所)、第 17 回 豊重哲郎さん(やねだん公民館館長)のエキスパートスタジオ、そして豊重さんのインタビューをまとめた「地域再生からニッポン再生」の 3 タイトルを頒布しています。

DVD ジャケット



図-22 KK²オリジナル DVD ライブラリ 作品(税込)

タイトル名	時間	頒布価格
第22回 高野 誠鮮さん(地方公務員)	56分05秒	3,000
第17回 豊重哲郎さん(やねだん公民館長)	64分35秒	3,000
地域再生からニッポン再生 豊重哲郎さんへの10の質問	27分36秒	2,000

(5) 日本文化に親しむ交流事業(KK²文化プログラム)

日本文化に親しみ、人と人との交流の場を提供する「KK²文化プログラム」は、文化庁「霞が関から文化力プロジェクト」事業として展開しています。



寄席や音楽、映画、食文化などをテーマにしたプログラムを提供し、ビジネスパーソンが文化に親しむ機会と交流の場を提供しています。一部のプログラムは、大船渡市「デジタル公民館まっさき」事業と連動し、大船渡市末崎地区公民館および陸前高田市長洞元気村仮設住宅集会場にライブ配信を行っています。

-1 KK² エントリープログラム

今年度より、もっと広く様々なアーティストの方に KK² をご活用いただくために、様々な分野で技術や芸を磨き、その発表、公演の場を求めているアーティストを対象に出演者を募集しました。さまざまなジャンルの応募を頂き今年度 6 回開催し、KK² 会場には 340 名の方、遠隔会場には 49 名の方にご参加いただきました。

図-23 「KK² エントリープログラム」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	会場別内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		末崎地区公民館(寄席)	長洞元気村(衛星)	職場・自宅(ライブ配信)		PC	スマホ	
DREAMS ALIVE MUSIC!! いつでも夢と音楽を第2回「日米音楽条約!! 音楽と映像でたどる歴史再発見」	2014/4/25(金)	19名	2名	2名	15名	10名	3名	7名		293名	288名	5名	322名
バロックのひととき	2014/5/20(火)	31名	3名	2名	26名	10名	5名	5名		403名	386名	17名	444名
濱守栄子ワンマンライブ「My Route ～「じゃあね。」また帰ってくるから～」	2014/6/13(金)	103名	1名	39名	63名	16名	16名			898名	897名	1名	1,017名
～神楽笛と講談でお届けする～美人古事記	2014/7/3(木)	64名	2名	10名	51名	5名	2名	3名		533名	527名	6名	602名
Love Makes The World Go Round～4人でお届けする素敵なハーモニー～	2014/9/19(金)	91名	0名	3名	88名	4名	1名	3名		906名	872名	34名	1,001名
～神楽笛と講談でお届けする～美人古事記 VOL2	2014/11/19(水)	32名	3名	4名	25名	4名	1名	3名		368名	328名	40名	404名
合 計		340名	11名	60名	268名	49名	28名	21名	0名	3,401名	3,298名	103名	3,790名

-2 霞が関寄席

熱心に芸の研鑽に励む落語家、講談師の方々を応援し、高座に上る機会を提供するプログラムです。ストレスが多いビジネスパーソンに伝統芸能に親しみ、笑い、リラックスする場を提供しています。今年度は五月と十二月に 2 回開催し、定員 100 名のところ、それぞれ 101 名、109 名の参加がありました。また、遠隔会場には 8 名の方にご参加いただきました。

図-24 「霞が関寄席」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	会場別内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		末崎地区公民館(寄席)	長洞元気村(衛星)	職場・自宅(ライブ配信)		PC	スマホ	
霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	2014/5/28(水)	101名	38名	25名	38名	8名	5名	3名		402名	399名	3名	511名
霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	2014/12/3(水)	109名	39名	26名	44名					376名	344名	32名	485名
合 計		210名	77名	51名	82名	8名	5名	3名	0名	778名	743名	35名	996名

-3 霞が関ミュージックサロン

一流の演奏家による音楽やカルチャー、伝統芸能に親しむプログラムとして、海外で活躍する日本人演奏家や、触れる機会が少ない日本の伝統芸能や古典芸能の演奏家を招いて、株式会社ミュージカルと共同企画、開催をしています。今年度は、文楽やクラシック、ろう者の方の手のサインによる音楽会などを開催しました。

また、霞が関から、文化がもたらす豊かさなどをアピールし、社会を元気にしていくため、平成 20 年 3 月に開始したプロジェクト「霞が関から文化力プロジェクト」(文化庁主催)より「霞が関音楽祭～音楽に包まれる1週間～」と題し7/28～8/4の1週間街をあげて、さまざまな音楽イベントを実施致しました。KK²も3つのプログラムで参加しました。今年度は7回開催し、KK²会場には250名の方、遠隔会場には10名の方にご参加いただきました。

図-25 「霞が関ミュージックサロン」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	会場別内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		東横地区公 民館(衛星)	長岡元光村 (衛星)	職場・自宅 (ライブ配信)		PC	スマホ	
文楽の中の《音楽》の楽しみ	2014/5/27(火)	28名	2名	10名	16名	6名	1名	5名		569名	569名	0名	603名
デュオ・シアター「ムーンガーデン」	2014/7/18(金)	26名	2名	2名	22名					249名	246名	3名	275名
《霞が関ミュージックサロン・プロデュース》フ レッシュコンサート1	2014/7/28(月)	65名	-		65名					561名	553名	8名	726名
《霞が関ミュージックサロン・プロデュース》フ レッシュコンサート2	2014/7/29(火)	75名	-		75名								
「歌で出会う東西の美女」～万葉美女伝説《真 間の手児奈》から 世界の美女達まで～	2014/7/30(水)	25名	-		25名								
Ensemble Le Creuset(アンサンブル ル ク ルーゼ)木管五重奏	2014/10/10(金)	15名	2名	0名	13名					212名	161名	51名	227名
～Happy Xmas! 久保田彩佳・金平真弥・中村 裕美～ 歌とキーボードによるクリスマス音楽の 夕べ	2014/12/10(水)	16名	0名	2名	14名	4名	2名	2名		333名	223名	110名	353名
合 計		250名	6名	14名	230名	10名	3名	7名	0名	1,924名	1,752名	172名	2,184名

-4 食と文化講座

食を通じてさまざまな文化に触れていただく講座。これまで好評をいただいているワインとチーズの組み合わせの他、ウイスキーや日本酒、各地の名産品など幅広い「食」をテーマにお届けします。実際に味わって楽しく学んでいただく、講師と参加者の交流の場を提供しました。今年度は3回開催し、89名の方に参加していただきました。

図-26 「食と文化講座」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
さわやかな初夏におすすめのチーズアレンジと ワイン	2014/6/19(木)	20名	8名	10名	2名	305名	298名	7名	325名
深まる秋に味わうこだわりチーズとワイン	2014/10/9(木)	24名	11名	5名	8名	149名	140名	9名	173名
ウイスキーは日本の酒である ～世界で数々の 賞を受賞している「響」の生みの親 奥水精一氏 が語る～	2015/1/22(木)	45名	8名	20名	17名	475名	345名	130名	520名
合 計		89名	27名	35名	27名	929名	783名	146名	1,018名

-5 霞が関シアター＋トークイベント

社会的に注目されるドキュメンタリー映画の上映、また上映の機会に恵まれない自主制作映画に場と機会を提供し、映画を通じて様々な問題について考える場として「霞が関シアター＋トークイベント」を開催しています。今年度は2回開催しました。

①「カンタ! ティモール CantalTimor」(上映時間 110 分)

開催日時:2014 年 8 月 28 日(木) 19:00～20:50

企画・制作:広田奈津子・小向定／監督:広田奈津子

参加者数:20 名

上映終了後、東ティモール渡航経験者も参加して東ティモールの現状、開発途上国への援助、幸福な暮らしなどについて語り合うシェタイムを実施しました。

②「夢は牛のお医者さん」(上映時間 86 分)

開催日時:2014 年 3 月 7 日(土) 14:00～16:15

製作著作:TeNY テレビ新潟／監督:時田 美昭

参加者数:27 名

トークイベント・ゲスト

田村 学 氏(文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官)

神代 浩 氏(文化庁伝統文化課長／元・文部科学省生涯学習政策局社会教育課長)

なお、大船渡市末崎地区公民館(ふるさとセンター)でも同時上映会を実施。トークイベントは両会場をテレビ会議システムで接続して意見交換や質疑応答も行った。末崎地区公民館は 18 名が参加しました。

図-27 「霞が関シアター＋トークイベント」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般			PC	スマホ	
『カンタ! ティモール』上映会	2014/8/28(木)	20名	9名	0名	11名	0	318名	309名	9名	338名
『夢は牛のお医者さん』上映会＋トークイベント	2015/3/7(土)	29名	4名	4名	19名	0	317名	226名	91名	346名
合 計		49名	13名	4名	30名	0名	635名	535名	100名	684名

-6 江戸 TOKYO 散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～

英語/韓国語/中文簡体/中文繁体版公開

江戸 TOKYO 散歩 Web 画面
<http://edo-tokyo-sanpo.com/>

KK² 開設記念に制作したオリジナル作品「江戸 TOKYO 散歩」は、歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の 12 景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街なみ、人々の営みを映像に収めています。広く世界の方に向けて東京の魅力を発信するために、YouTube での配信も行っています。動画視聴回数は、5,648 回となっています。



図-28 「江戸 TOKYO 散歩」動画視聴回数

動画視聴回数	日本語	英語	韓国語	中文簡体	中文繁体	合計
プロローグ	350	103	36	22	60	571
Vol.1「虎の門外あふひ坂」(虎ノ門)	506	62	55	46	54	723
Vol.2「浅草金龍山」(浅草)	201	43	33	64	50	391
Vol.3「湯しま天神坂上眺望」(湯島)	179	34	31	14	29	287
Vol.4「する賀てふ」(日本橋三越前)	388	73	99	43	174	777
Vol.5「山下町日比谷外さくら田」(日比谷)	160	63	47	41	19	330
Vol.6「飛鳥山北の眺望」(王子・飛鳥山)	183	52	28	20	28	311
Vol.7「大はしあたけの夕立」(新大橋)	232	50	37	17	29	365
Vol.8「堀切の花菖蒲」(堀切)	223	63	24	27	40	377
Vol.9「はねたのわたし 辨天の社」(羽田)	108	27	36	7	11	189
Vol.10「両国花火」(両国)	130	55	44	15	16	260
Vol.11「京橋竹がし」(銀座)	140	70	289	14	38	551
Vol.12「四ツ谷内藤新宿」(新宿)	336	56	79	10	35	516
合 計	3,136	751	838	340	583	5,648

(6) その他(協賛プログラム)

「復興支援 IT ボランティア 2014 年度報告会」に、会場提供等を行い協賛しました。震災から 3 年経った今年度は、物理的な街の復興から街づくりへと被災地の状況が移行する変化を見ながらたくさんのことを学ぶ場となりました。これまでの活動の振り返りと共に、活動地の近況などの報告を行いました。報告会の模様を収録し公開しています。

(7) Web サイト・メールマガジン等による情報発信他

-1 KK² Web サイトでの情報発信

KK²の自主企画プログラムは、収録を行い Web コンテンツとして公開し、いつでも誰でも無料で学べる環境を提供しています。

また、今年度いつでもどこでもだれでも学べる学習サイトとしてさらに機能を追加し、リニューアルしました。

(<http://www.kk2.ne.jp/>)

今回のリニューアルでは、CMSを導入してマルチデバイス(スマートフォン、タブレット)に対応いたしました。

新しく追加された機能として、

- ・学びの記録を蓄積する e ポートフォリオ機能

後に「KK²で何を学んだか」「どのようなことを考えたか」など、自分自身を振り返るためのツールとなります。

- ・学習動画コンテンツへの学習者の評価(5段階指標及びコメント)機能

- ・レンタルスペース予約状況確認と利用申し込み機能

今後の課題は集客を増やしユーザーを拡大することです。KK²としても良質なコンテンツ(本当に役に立つ内容)を用意し、ユーザーにとって見やすく、知りたい情報により早的確にアクセスできる Web サイトを目指してブラッシュアップを図っていきます。

KK² Web サイト画面



-2 霞が関ナレッジスクエア facebook ページ

KK² Web サイトと連動し、ゆるやかなファンとの交流を促進するために「facebook ページ」を運営しています。各種プログラムの告知、出演者からのメッセージ、エキスパート倶楽部のメニュー紹介などタイムリーな情報を発信しています。

KK² Facebook 画面



-3 メルマガ「メッセージ from KK²」発行(毎週金曜日)

毎週金曜日、Web 会員向けにメールマガジンを発行しています。内容は、巻頭言「メッセージ from KK²」「人と人の絆と地域の再生」「しごと力向上・エキスパートと学ぶ」「新しい役割を担うアクティブシニアを応援」「ライブセミナー」「文化に親しむ交流事業」「無料でご覧になれるプログラム」「goodbooks」「交流カフェエキスパート倶楽部」「事務局からのお知らせ」で構成されています。平成 26 年度は 7,388 名(27 年 3 月 27 日時点)を対象に 51 回発行いたしました。通巻では 367 号となります。

KK² メルマガ「メッセージ from KK²」画面



(8)その他運営

-1 霞が関ナレッジスクエア運営委員会 開催

平成 26 年度運営委員会は、H25 年度事業報告および H26 年度事業計画を平成 26 年 5 月 8 日に、平成 26 年度上半期報告を平成 26 年 11 月 19 日に実施しました。なお、プログラム開発委員会は今年度開催しませんでした。

平成26年6月18日 運営委員会 出席者(敬称略)

<委員>

福田 猛	一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長
佐藤聖児	大成建設株式会社 建築営業本部 営業部 課長
奥水司郎	大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部PFIプロジェクト室 課長代理
降幡 勝	東京建物株式会社 ビルマネジメント部ビル営業グループ課長代理
奥田浩二	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 建築プロジェクト部 PFI担当シニアマネジャー
星野 倫	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 建築プロジェクト部 PFI担当

<オブザーバー>

斎藤 康行 文部科学省 大臣官房会計課 課長補佐

<霞が関ナレッジスクエア>

久保田了司	一般財団法人高度映像情報センター理事長／霞が関ナレッジスクエア代表
伊庭野基明	グローバル・キャリアカウンセラー／ビジネスコーチ
伊藤 健二	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授

(事務局担当)

山田 瑞恵	霞が関ナレッジスクエア
丸山 修	霞が関ナレッジスクエア

平成26年11月19日 運営委員会 出席者(敬称略)

<委員>

福田 猛	一般社団法人 大学技術移転協議会 事務局長
坪田高樹	独立行政法人科学技術振興機構イノベーション推進本部 産学基礎基盤推進部 副調査役
関 朋一	株式会社久米設計 開発マネジメント本部 プロジェクトマネジメント部
水本 利仁	東京建物株式会社 ビル事業企画部 業務管理グループ
奥水 司郎	大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部 PFIプロジェクト室
星野 倫	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 建築プロジェクト部 PFI担当

<オブザーバー>

櫻井 太郎 文部科学省大臣官房会計課 管理班管理係

<霞が関ナレッジスクエア>

久保田了司	一般財団法人高度映像情報センター理事長／霞が関ナレッジスクエア代表
伊庭野基明	グローバル・キャリアカウンセラー／ビジネスコーチ
伊藤 健二	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授

(事務局担当)

丸山 修	霞が関ナレッジスクエア
------	-------------

-2 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定

千代田区と平成 27 年 2 月 1 日、「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」を結びました。これにより KK² 及びエキスパート倶楽部が千代田区の「帰宅困難者等一時受入施設」に指定されました。

この協定は、地震等の災害に起因し公共交通機関の運行が停止するなどの理由で、千代田区内にいたときに帰宅困難者となった人を、一時的な避難所として受け入れるものです。

対象施設は、霞が関ナレッジスクエア(KK²)、及び交流カフェ エキスパート倶楽部となっており、これにともない、アルミブランケット、水、ビスケット(カンパン、アルファ米含む)、携帯トイレ等の必要数を保管倉庫に備蓄いたしました。

千代田区長と久保田理事長



Ⅲ コンサルティング事業

(1) 情報システムコンサルティング業務

- 1 東京都青梅市において、基幹系システム再構築に係るコンサルティングを行いました。現行の汎用機を用いた基幹系システムの再構築に際し、次期オープン系システムに求める要求機能の精査、調達仕様書等作成、業者選定にかかる審査支援を行い、導入までの進捗管理を行いました。
- 2 山梨県笛吹市において、情報システム最適化調査及び IT ガバナンス構築支援を行いました。今年度は、情報システム調達ガイドラインの作成、プロポーザル等の契約に関する雛形の作成、IT リーダーの育成支援などを行い、今後の IT 業務の標準化へ向けコンサルティングを実施しました。
- 3 山梨県甲州市において、通学路整備の一環として、駅利用者を含めた安全施設の構築を行うことを目的とし、塩山駅前広場およびその周辺施設の安全性を確保するため、防犯カメラシステムの構築、設置に関する実施設計を行いました。
- 4 山梨県甲州市において、収納事務システムの運用コンサルティングを行いました。また、外部委託業者のセキュリティ確認も実施しました。

(2) ネットワーク構築コンサルティング業務

- 1 山梨県早川町において、新庁舎を建設にあたり、情報系ネットワークの実施設計を行いました。
- 2 山梨県市川三郷町において、学校系校内 LAN 機器及び波長多重通信装置を更新し、本庁から三珠支所及び六郷支所への通信の信頼度向上と併せて、教育分野における ICT 利活用推進のための設計・監理を行いました。
- 3 山梨県甲州市において、新築される学校給食センター内の各種ネットワーク(情報系、学校系、音声系等)を構築し、業務の改善も考慮した実施設計及び施工監理を行いました。
- 4 山梨県上野原市において、平成 16 年から 24 年にかけて市が敷設した光ファイバケーブルについて、市内全域の調査を実施し、電柱移転等でルートが変更になった部分などを反映したネットワーク図の作成を行いました。

(3)防災・消防関連コンサルティング業務

-1 消防・防災無線等のデジタル化構築にあたり、以下の設計及びコンサルティング業務を行いました。

- ①辰野町防災行政無線デジタル化工事設計業務
- ②喬木村デジタル同報系防災行政無線設計業務
- ③森町行政無線デジタル化(移動系)電波調査等業務
- ④千代田区防災行政無線デジタル化準備調査及び実施設計業務
- ⑤小平市デジタル同報系防災行政無線設備拡声子局増設工事設計業務
- ⑥川崎市多重系・衛星系防災行政無線設備及び附帯設備再整備基本設計
- ⑦北区地域防災無線(同報系)デジタル化再整備事業計画業務
- ⑧富士見市防災行政無線(同報系及び移動系)デジタル化設計業務
- ⑨日高西部消防組合消防救急デジタル無線整備 実施設計業務
- ⑩深川市防災行政無線(260MHzデジタル移動系)施設整備実施設計委託業務
- ⑪国立市防災行政無線(固定系)更新工事实施設計業務
- ⑫久喜市デジタル同報系防災行政無線設備基本設計業務
- ⑬東温市防災行政無線移動系デジタル化整備工事实施設計業務
- ⑭府中町防災行政無線デジタル化整備事業実施設計業務
- ⑮つくば市防災行政無線整備調査業務委託
- ⑯甲州市デジタル簡易無線通信システム設計業務委託
- ⑰大桑村防災行政無線デジタル化実施設計業務
- ⑱香美市防災行政無線デジタルシステム(同報系・移動系)整備設計業務
- ⑲墨田区防災行政無線システム再構築計画策定業務
- ⑳山添村防災行政無線(同報系)デジタル化整備基本設計及び実施設計業務
- ㉑新富町無線放送システム基本設計業務
- ㉒霧島市防災行政無線統合デジタル化津波対策実施設計業務

-2 消防・防災無線等の設備工事にあたり、以下の施工監理業務などを行いました。

- ①武蔵村山市無線放送施設更新工事に伴う工事監理
- ②指宿市デジタル防災行政無線設置工事監理業務
- ③霧島市防災行政無線統合デジタル化整備工事監理業務
- ④南種子町防災行政無線デジタル化整備工事監理業務
- ⑤阿智村防災行政無線(デジタル同報系)監理業務
- ⑥常総市防災行政無線設備整備工事監理業務
- ⑦身延町防災行政無線施設デジタル更新工事施工監理業務
- ⑧東久留米市防災行政無線デジタル化工事監理及び子局実施設計業務
- ⑨浦河町 防災行政無線(同報系)施設整備施工監理業務

- ⑩ 始良市消防通信システムデジタル化整備工事監理業務
- ⑪ 練馬区同報系防災行政無線デジタル化等整備工事監理
- ⑫ 長島町防災行政無線(デジタル同報系)整備工事施工監理業務
- ⑬ 川崎市同報系防災行政無線設備デジタル化工事施工監理業務
- ⑭ 玉野市防災行政無線整備に伴う施工監理業務
- ⑮ 筑前町防災行政無線施設整備工事監理業務
- ⑯ 町田市防災行政無線移動系設備再構築工事監理業務
- ⑰ 大和市防災行政無線デジタル化工事監理業務
- ⑱ 東村山市防災行政無線(固定系)機器設置工事監理業務 第3期
- ⑲ 日野市防災行政無線(同報系)デジタル化工事監理業務
- ⑳ 日高西部消防平取支署消防救急デジタル無線整備事業施工監理業務
- ㉑ 辰野町防災行政無線デジタル化工事監理業務
- ㉒ 喬木村デジタル同報系防災行政無線施工監理業務
- ㉓ 川越市防災行政無線評価検討業務
- ㉔ 熊谷市防災行政無線設計照査業務

-3 防災関連設備更新にあたり、以下のコンサルティング業務を行いました。

- ① 豊島区庁舎移転に伴う防災設備更新コンサルティング業務
- ② 自治体衛星通信機構次世代映像伝送方式検討業務

(4) 地域活性化コンサルティング業務

-1 千葉県山武市において、過去の情報化計画及び市民アンケートや各所ヒアリング等から現状の課題を抽出し、対応検討を実施。市で設置する委員会との連携を図りながら、第2次情報化計画をまとめました。

(5) 情報セキュリティコンサルティング業務

- 1 東京都府中市において、情報セキュリティ外部監査を実施しました。脆弱性に関して実効性のある対策を助言行くと共に、情報セキュリティセミナー等を開催し、セキュリティに対するリテラシーの向上を図りました。
- 2 山梨県笛吹市において、情報セキュリティ外部監査及び内部監査のための監査員研修を実施しました。
- 3 東京都足立区において、マイナンバー制導入に伴う、特定個人情報保護評価書(PIA)の作成支援を行いました。住民基本台帳と地方税の2事務について作成し、全項目評価を実施し、それに対する職員研修とガイドラインの作成を行いました。
- 4 山梨県甲州市において、MS-office の高度な使い方や情報セキュリティに関しての全職員研修を実施しました。
- 5 横浜市芸術文化振興財団においては、個人のスマートフォンやパソコン等を業務でも使用する機会が多いため、派遣職員も含めた統一した教育が必要となったため、今回研修を行いました。

(6) プライバシーマーク認定審査業務

経済産業省が普及・啓蒙している、個人情報保護に関する第三者認定制度「プライバシーマーク制度」の認定について、(一財)日本情報経済社会推進協会及び(一財)放送セキュリティセンターに対し、審査支援業務を行いました。

(7) 危機管理教育支援

前述の KK² 事業「人と人の絆と地域の再生」カテゴリで、「震が関防災キャンプ～帰宅困難を体験して防災体質になろう～」、「心と体のストレッチ ～身につけよう、キズナデカラ～」という体感型危機管理プログラムを実施しています。このプログラムを軸とした危機管理教育の企画、支援業務を東京ミッドタウンマネジメント株式会社様に提供しました。「スタッフ強靱化研修～攻めの危機管理～」というテーマで全社員教育を2回に分けて実施し約 100 名の方が参加しました。KK² のアドバイザーメンバーである鎌田修広氏(株式会社タフ・ジャパン 代表取締役)に体感型プログラムを企画していただき高い評価を得ました。

東京ミッドタウンマネジメント社 研修風景



IV 運用保守等業務支援事業

(1) 情報システム運用支援業務

-1 山梨県甲州市において、電算システムの運用支援業務を行いました。住民情報系システム、内部情報系システム、学校系システムの運用支援及び管理業務を実施し、外部委託業者へのセキュリティ監査も実施しました。

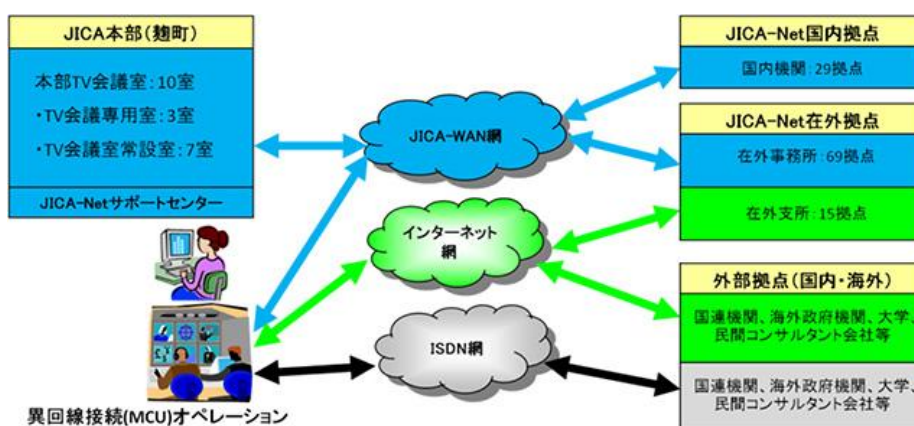
-2 山梨県甲州市において、番号制度を導入するにあたり、番号制度の概要・制度導入に伴う業務の変化・制度導入後における職員の対応などについて、全職員を対象とした勉強会を開催しました。

-3 山梨県上野原市において、ICT 運用コンサルティング業務を行いました。地域イントラネット、電算系システム、FTTH 網など ICT 全般の運用に関して、現状調査を行い、今後の最適な運用及びシステム更新について助言を行いました。

(2) TV 会議システム運用業務

独立行政法人国際協力機構 (JICA) の委託を受けて、JICA が運用する TV 会議システムの機能を最大限に活用し、より効果的かつ効率的な技術協力、有償資金協力、無償資金協力等の JICA 事業を実現すること、及び事業の機会拡大に資することを目的として、JICA 内に業務従事者を配置し、具体的に以下の TV 会議システム運用支援業務やそれに付随する業務を行いました。

- ・TV 会議接続オペレータ業務、施設管理業務
- ・TV 会議システム ヘルプデスク業務
- ・TV 会議室、TV 会議機器更新に伴うコンサルティング業務



(3)情報システム運用保守業務

- 1 松戸市文化会館ホール映像収録システムなどの保守管理業務(千葉県松戸市)
- 2 松戸市文化会館映像配信システム保守管理業務(千葉県松戸市)
- 3 松戸市生涯学習情報提供システム(まつどまなびいネット)保守管理業務(千葉県松戸市)
- 4 松戸市文化ホール社会教育推進関連機器保守点検業務(千葉県松戸市)
- 5 学校法人昭和女子大学AVシステムの保守管理業務(学校法人昭和女子大学)
- 6 学校法人松本歯科大学AVシステムの保守管理業務(学校法人松本歯科大学)
- 7 情報システムの保守管理業務(学校法人愛知大学東京事務所)
- 8 日本アムウェイ合同会社本社AVシステム保守管理業務
- 9 日本アムウェイ合同会社地方プラザ(全国8ヶ所)AVシステム保守管理業務
- 10 末崎地区公民館の IT 環境(インターネット接続、無線 LAN)の保守管理業務

V 教材企画制作事業

企業や各種団体機関等の教育・技能訓練・広報といった分野において、教育目的にふさわしい、映像を使った効果的な研修教材の企画・制作を行いました。教材の制作だけでなく、インターネット等の技術を活用し、いかに教育効果を高めるかについてトータルな企画提案も行いました。

(1) 映像教材制作事業(DVD 制作/Web コンテンツ制作)

全国社会保険労務士会連合会運営の e ラーニングサービス「社会保険労務士研修システム」用教材の制作をおこないました。同じく社会保険労務士会連合会が全国の社会保険労務士向けの応対マナー教材 DVD を制作いたしました。

(2) オンライン学習サービス事業

KK²e ラーニングシステムを利用し NPO 法人不動産カウンセラー協会の「平成25年度不動産戦略アドバイザー認定研修」を平成 26 年 4 月より 12 ヶ月運用しました。

(3) 生涯学習情報提供システムの提案事業

AVCCが開発した生涯学習情報提供システムを導入済みの自治体に対しては利便性の向上を目的としスマートフォンでの検索機能の追加、他言語での案内、検索の機能追加をしたバージョンアップシステムを提案いたしました。

VI 運営に関する事項

(1) 役員等名簿

理事長	久保田了司	当財団代表理事
常務理事	久保田庸弘	当財団業務執行理事
理事	清水 康敬	東京工業大学 監事・名誉教授 工学博士
	永岡 慶三	早稲田大学 人間科学学術院 教授
	伊東信一郎	ANA ホールディングス(株)代表取締役社長
	正殿 博章	ニッセイ保険エージェンシー(株)代表取締役社長
	世木 茂	(一社)日本能率協会 顧問
	佐野 元昭	(株)ケイ・アイ・エス情報科学研究所 代表取締役社長
	伊庭野基明	グローバルキャリアカウンセラービジネスコーチ
	馬場 弘子	(株)サンカントサンク 代表取締役
監事	鈴木 重文	弁護士
評議員	米里 文明	(株)インフィニトラベルインフォメーション 前代表取締役社長
	稲葉 徹	(株)稲葉製作所 代表取締役
	大串 夏身	昭和女子大学 大学院生活機構研究科 特任教授
	唐澤 誠	(株)唐澤誠建築音響設計事務所 代表取締役
	福原 美三	明治大学 研究・知財戦略機構 特任教授

(2) 会議等の開催

-1 第1回理事会(通常)

開催日:平成 26 年 6 月 10 日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成25年度事業報告・決算報告

公益目的支出計画実施報告

(株)メディアリンクとの取引実績

-2 第1回運営委員会(定例)

開催日:平成 26 年 6 月 18 日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成25年度活動報告及び平成26年度活動計画

-3 第1回評議員会(定時)

開催日:平成26年6月24日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成25年度事業報告・決算報告

公益目的支出計画実施報告

(株)メディアリンクとの取引実績

役員報酬

-4 第2回運営委員会(定例)

開催日:平成26年11月19日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成26年度上期活動報告・下期活動計画

-5 第2回理事会(通常)

開催日:平成27年3月19日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成27年度事業計画・収支予算

(株)メディアリンクとの取引予定

(3)会員等 (平成27年3月)

賛助会員 33 団体

協賛メンバー 30 団体

法人メンバー 5 団体

個人メンバー 18 名

Web 会員 9,008 名

【平成26年度事業報告の附属明細書について】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載するべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上